

HDバロー 水防協力「地域と連携」 多治見市から団体指定

多治見市は21日、バローホールディングス(HD)を水防協力団体に指定した。市内のスーパー「バロー」で平時は水防関連のポスター掲示やパンフレット配布で啓発に協力するほか、災害時は水防活動を行う消防団員に食料や資材などを提供、店舗や駐車場などの使用を認めて支援する。

認定書の交付式が市役所であり、国土交通省庄内川河川事務所の奥中智行所長の立ち会いの下、高木貴行市長がHDの篠花明常務に手渡した。高木市長は「協力は心から感謝したい。HDと市、消防団、事務所の4者で連携して市民の安

心、安全に寄与したい」と語った。篠花常務は「地域との連携を重視しており、多治見市との関係を深めていきたい」と話した。協力はスーパー4店舗でスタート、グループのドラッグストアやホームセンターに広げることも検討する。

協力団体は水防活動をサポートする企業・団体を、市町村などが指定する。国土交通省水防企画室によると、昨年4月時点で全国に23団体あり、県内はゼロだった。同省が昨年12月に募集に協力し、新たに全国12団体(うち県内はHD1団体)が本年度中に指定されることになった。(小森直人)



奥中智行所長(右)の立ち会いの下、高木貴行市長(中央)に認定書を手渡す篠花明常務。多治見市役所